

プロジェクト名	パブリックコメント意見	回答
みじらしゃエリアプロジェクト	・町営住宅や、教員住宅の活用を検討してはどうか。	・貴重なご提言をいただきありがとうございます。 教員住宅をはじめとする公営住宅等の未利用資産の活用は、有効な住宅確保の一つであると認識しており、今後、関係機関と連携し、居住支援協議会での重要な検討課題の1つとして、取り組んでまいります。
みじらしゃエリアプロジェクト	・住宅要配慮者とは別枠で、この先将来的に一軒家の管理が難しくなり、シェアハウスなどに移り住みたいというニーズもありそう。そういう人たちの意見も聞きつつ10年、20年後を見据えた計画が必要。	・管理が困難となった戸建て住宅からの住み替えのニーズについては、本町の重要な課題であると認識しております。様々な居住形態のニーズに対応できるよう、今後、居住支援協議会での重要な検討課題の1つとして、取り組んでまいります。
みへでいろプロジェクト	・農作物以外の水産物にも焦点をあててほしい。	・見直し案に水産業に関する内容を追加しました。
みへでいろプロジェクト	・漁業でいうと、島内の市場価格が沖縄などに比べ低いこともあり、島外へ販売されるケースも少なくない。市場価格と漁師の希望価格を埋めるところに予算や補助金を使うのはどうか。島の魚を食べることに繋がると思う。	・島内市場への出荷を目的とした補助等の実施については、独占禁止法第1条に示す「公正かつ自由な競争」の妨げとなる可能性があることから、慎重な検討を進めてまいりたいと考えております。 本町においては、沖永良部島漁業協同組合及びえらぶ漁業集落が実施する魚食普及活動の支援を実施しているところであり、今後も本取組を通じて、島内における島内産水産物の消費拡大を図ってまいります。
まちゅんどプロジェクト	・郷土学習が中学校まで延長されることを踏まえ、町全体で一貫した教育カリキュラムの構築が必要ではないか。	・ご意見のとおり、郷土学習を中学校段階まで継続して実施するにあたっては、町全体で一貫した教育カリキュラムを構築することが重要であると認識しております。ただし、今回の郷土学習の位置づけについては、新たに中学校で導入するものではなく、これまで総合的な学習の時間等で行ってきた取組を「肝心の教育」として再整理したものです。現在、各学校合同での実施は行っておりませんが、それぞれの学校が地域の特性を活かした活動を通じて、子どもたちに郷土への理解と愛着を育む学習を進めております。今後も、教育委員会を中心に、関係機関や地域の皆さまと連携を図りながら、より一貫性のある郷土学習の在り方について検討を行ってまいります。
まちゅんどプロジェクト	・小学校以上は部活動などもあり、活動やイベント参加が難しくなると同時に、親子で過ごす時間を取るのが難しい。未就学児を持つ親子を巻き込むようなイベントがあるといい。	・最近では、兄弟・姉妹の参加や未就学児の参加を可能にしています。未就学児には保護者同伴を必須とすることで親子での参加が見られており、今後もそのようなイベントの運営をしていきたいと思っております。
まちゅんどプロジェクト	・郷土学だけでなく、集落内での交流があると子育てへの愛着が湧き、子育てをしに帰ってきたいと感じられる。	・郷土学習に加えて、集落内での交流を通じて地域の方々と関わることは、子育てに対する安心感や地域への愛着を育むうえで大変重要であると認識しています。今後は、字の人も巻き込んだ活動を企画していきたいと考えております。

プロジェクト名	パブリックコメント意見	回答
まちゅんどプロジェクト	・黒糖づくり等の合同体験や集落交流を通して郷土学習を体験し、積み重ねることが、地域愛着の醸成につながるのでは。	・現在、町内の学校では、総合的な学習の時間において黒糖づくりや汐干し学習を実施しています。合同での体験学習を行う場合には、場所や材料に加えて、必要となる機材の確保なども検討する必要があると考えておりますので、今後、実施の可能性について検討してまいります。 集落交流については、これまでもイベントを通じて集落の皆さまにご協力いただいた事例があります。 今後も、集落の方々にご協力をお願いするような取組を検討し、子どもたちが集落とつながる機会をさらに充実させていきたいと考えております。
まちゅんどプロジェクト	・小学生以上のプログラムがこれまで多かったが、幼少期からの地域巻き込みを重視し、未就学期から親子で地域と関わる機会を充実させてほしい。	・地域とかかわりながら島を学ぶ体験型イベント等も来年度以降開催していきたいと思います。また、むーるしふでいらさプロジェクトと重なる部分もあると思いますので共同しての企画・開催も検討したいと考えています。
まちゅんどプロジェクト	・むーるしふでいらさプロジェクトとクロスする部分もあるので合同で企画していくといいのではないかと。	・むーるしふでいらさプロジェクトに限らず、様々なプロジェクト間での企画や協力が必要だと考えております。
ようていあしばープロジェクトプロジェクト	・学校の設備導入や改修などする前に、この先の学校の在り方を決定づける必要があるのではないかと。	
ようていあしばープロジェクトプロジェクト	・学校の在り方検討会についても、PTAや学校の行事と組み合わせて、保護者が参加しやすいように取り組むのはどうか。また、対象は未就学児や小学生を持つ家庭も含むべきではないかと。	・これまで実施した「あり方座談会」での意見やアイデアを収集・検証し、今後実施する「あり方検討会」において議論します。
ようていあしばープロジェクトプロジェクト	・義務教育学校、合併などそれぞれのメリットやデメリットを挙げた上で、それぞれの意見を聞く必要がある。	
あたらむープロジェクト	・以前開催された0円マーケットがよかったので定期開催してほしい。回を重ねれば、イベントの認知度が高まり、また物の在り方についても意識が高まるのでは。	・今後定期開催できるよう、各種団体、関係課と協議しながら取り組んでいきたいと考えています。
あたらむープロジェクト	・小学校ではクリーンセンターの見学があるが、大人を対象にした見学会があってもいい。	・家庭ごみの排出は、ほとんど大人がするのにも関わらず、分別方法をしっかりと理解してもらえていないのも現実です。大人を対象にした見学をする事で、沖永良部島のごみ処理状況を理解してもらえる良い機会になると考え前向きに検討したいと思います。
その他	・総合振興計画の取りまとめ等は企画課が担当していると思うが、各プロジェクトを総括して横断的にマネジメントするような役割を担うポストが必要ではないかと？	・総合振興計画の推進体制として設置している「総合振興計画等推進プロジェクトチーム」において、ご意見にあるようなポストが設置できないか、予算や人事にも関係してくることから、町長や関係課長等とも協議して検討してまいります。